

令和3年度第1回いわき市総合防災訓練【大雨・洪水編】市長メッセージ

いわき市民の皆様、おはようございます。

市長の清水敏男でございます。

本日の訓練に先立ちまして、まずは、この度静岡県熱海市において発生した大雨、土砂災害により、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に対しまして、衷心よりお見舞い申し上げます。

本日、本市におきましては、「令和3年度第1回いわき市総合防災訓練（大雨・洪水編）」として、一昨年に発生した「令和元年東日本台風」災害での経験を踏まえ、市民の皆様の防災意識及び職員の災害対応能力の向上を目的に、大規模な水害・土砂災害を想定し、自衛隊、福島海上保安部、福島県警察本部など関係機関と連携しながら実施しております。

現下の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、今回は、市民参加型の防災訓練は見送り、災害対策本部設置訓練や災害対策本部と連携した全庁的な初期対応訓練を、事前に訓練のシナリオを与えず、想定のみを与えて対応する「ブラインド方式」により実施するほか、消防サイレンや防災無線、FMいわきの緊急割込放送など、さまざま伝達手段を用いた避難情報の伝達訓練、感染症対策や要配慮者の対応、さらには、新型コロナウイルスへの感染が疑われる方の受入れを想定した避難所開設訓練を行います。

また、市公式YouTubeによる防災講座の配信やFMいわきの番組放送を通じて、市民の皆様への災害への備えを呼びかけることとしております。

近年、全国的に大規模な自然災害が多発しておりますが、防災マップなどで、自宅のある場所に、どのような災害リスクがあるのか、また、災害時にどこに避難すればいいのかなどを今一度、ご家族で話し合い確認する機会としてください。

市民の皆様におかれましては、出水期に入り、本格的な台風シーズンを迎えるにあたり、「災害はいつでも起こり得る」との認識に立ち、日ごろから「災害への備え」を行うことが大切です。

今回の防災訓練を含め、平時より市民の皆様と連携し、災害に強いまちづくりを目指して参りますので、引き続き、防災への関心を高め、災害への備えをしていただきますよう、お願い申し上げます。